

第3回「愛媛の保護者と教師の集い」教育長あいさつ

平成27年8月7日(金) 12:50～
松山市総合コミュニティセンター

本日、多数の皆様をお迎えして、第3回「愛媛の保護者と教師の集い」を開催できますこと、心から御礼申し上げます。

御参会の皆様におかれましては、日頃より、県内各地において、それぞれのお立場から愛媛の子どもたちの健やかな成長のために御尽力をいただいております、改めて感謝いたします。

また、御来賓として、文部科学省生涯学習政策局 社会教育課長 谷合 俊一 様、同じく、社会教育課 地域学習活動推進係長 小山 聡 様に御臨席いただいております。大会の中で、指導助言などいただくことになっております。どうか、よろしく願いいたします。

さて、急速な少子化・高齢化の進行とともに、情報通信技術の発展や経済活動におけるグローバル化等により社会は大きく変化しており、このような社会の中で、生き抜いていくために必要な能力も時代とともに変わっています。次代を担う子どもたちが、多様化する社会に的確に対応し、自身の望む人生を切り開いていくための生き抜く力を育むことは、私たち大人の責務であると考えます。

愛媛県教育委員会におきましては、「愛顔あふれる愛媛県」を目指し、本年5月に策定いたしました「愛媛県教育振興に関する大綱～愛顔でつなぐ学びの未来～」における振興方針に基づき、本県の教育の充実に努めているところでございます。また、県教育基本方針・重点施策の第一に「社会総がかりで取り組む教育の推進」を掲げ、社会の変化に対応した教育環境の確保に向け、創意工夫を生かした学校づくりに努めるとともに、家庭や地域の教育力の向上を図り、学校・家庭・地域・企業等が連携・協働して、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支援することを目指して各種施策に取り組んでおります。

そのような中、この「集い」は幼少期から青年期までの子どもたちの成長に関わる皆様に、変化する社会で起こっている子どもたちの多様な問題を共通課題として御理解賜り、課題解決に向けて子どもたちの成長段階に応じた切れ目のない教育支援に取り組み、社会総がかりで愛媛の子どもたちを健やかに育むための契機にさせていただくことを願って実施するものであります。本日は、日本学術振興会理事長で前中央教育審議会会長の安西祐一郎先生による講演や6つの個別テーマによる分科会での事例研究をとおして、研修や情報交換を行うこととしておりますので、それぞれのお立場や経験に基づいた様々な視点から活発な御協議をいただきますようお願いいたします。

結びに、本日御参会の皆様のご健勝、御活躍を心からお祈り申し上げまして、主催者の御挨拶といたします。